



1982年生まれ。浜田市出身。山口大学を経て、大阪の自動車部品会社に就職し約10年勤務。故郷への想いから、2014年にUターン。浜田市の自動車部品製造会社に転職し、スキルを活かしながら仕事に取り組む。実家の隣に家を新築し、妻と3人の子どもと賑やかに暮らす日々。

移住のきっかけ

「浜田へ帰りたいたいという気持ちはあったのですが、なかなか踏み切れませんでした」と話す榎さん。関西での仕事も慣れてきて、結婚、そして第1子が誕生。子どもも成長していくなかで、故郷への想いは日に日に募っていきました。公益財団法人ふるさと島根定住財団が主催するU・Iターンフェアや就職相談にも足を運び、就活情報サイト「ジョブカフェしまね」に登録していたところ、地元企業から声がかかりました。

「故郷に帰るなら、子どもが大きくなる前に」、そう妻とも話し合っていたこともあり、転職を決意。両親がいる実家へ帰ってきました。昔からの友人にかこまれ、住み慣れた自然あふれる環境で、仕事に子育てに新たなスタートを切りました。



榎さん家族と親せきのお子さん（右）



移住前の期待値とギャップ

実家は浜田市内でも中山間地域にあり、子どもの頃は移動手段が少なく、行動範囲も限られていたのので、不便だと感じて育った榎さんですが、大人になって帰ってきてみると、車で浜田の中心地にいけば買い物は事足ります。生協の宅配も組み合わせながら、意外と便利に暮らしています。

ただ、冬の雪対策は必要です。雪が降り始めると、土日は雪かきに汗を流します。「子どもたちは雪かきが大好きなので、意外と楽しんでやっていますよ」、と榎さん。自然豊かな環境だからこその不便さはありますが、それを楽しむだけの気持ちがあれば、魅力に変わります。

浜田暮らしの良さ

榎さんの家の前には綺麗な川が流れています。小さい頃は父親と一緒に釣りをした思い出もあるこの川で、本格的に釣りをはじめ、漁協組合にも加入し、ヤマメやアユ釣りを楽しんでいます。今度は榎さんが子どもたちを連れ、釣りに、水遊びに、川がある暮らしを満喫しています。

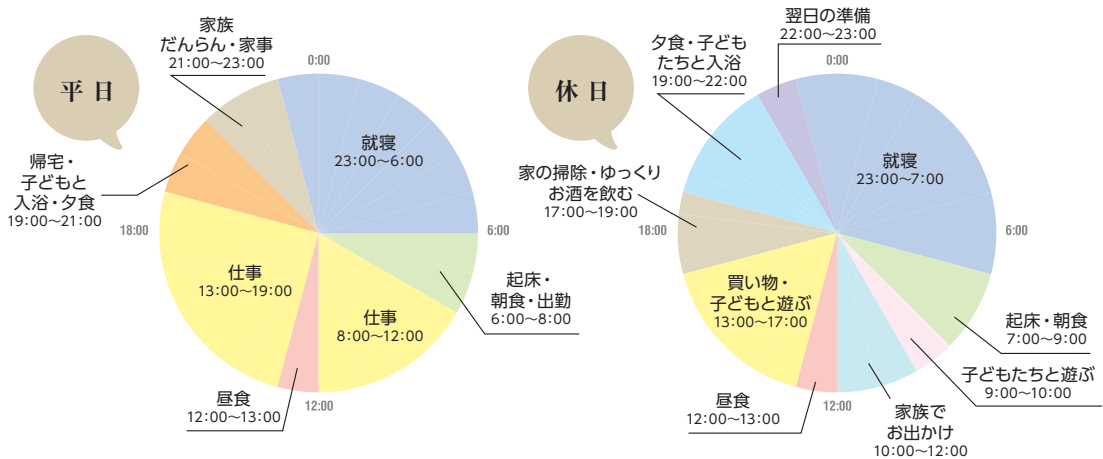
地域の活動にも積極的に顔を出す榎さん。消防団や自治会青年部の一員となり、顔が見えるつながりを大切にしています。「近くに住んでいても集まる機会が限られるので、お祭りの準備や消防団の活動を通じて、知り合いを増やして行っています」。積極的に地域を楽しむ榎さんですが、最近は近所で音楽仲間を見つけ、バンドを結成。高校生も参加し、集会所を借りて練習に打ち込んでいます。

自然豊かな浜田ですが、公園は意外と少なく、子どもたちと休日にどこで遊ぶかいつも考えています。最近は、友人から島根県立体育館で遊べることを教えてもらい、よく利用しています。地域でのつながりがあれば、こういった暮らしの情報も入りやすくなります。

実家の隣に家を建て、家族5人で暮らす榎さんですが、両親が近くにいるのはやはり安心。子どもたちを預かってもらうこともでき、両親の日々の様子もわかり、この地に腰を据えて仕事に子育てに取り組むことができています。



平日・休日のタイムスケジュール



浜田暮らしのポイント

榎さんのおすすめは、ふるさと島根定住財団に相談すること。同財団は、東京や大阪で定期的にフェアや相談会を実施していますし、希望する仕事や暮らしの情報も届けてくれます。地方には仕事が少ないと思われがちですが、現在はむしろ人手不足の状況です。選択肢は必ずしも多くありませんが、浜田でも仕事は確実にあります。

「浜田の出身者でも子どもの頃のイメージと違い、大人になって帰ってきてみたら意外と便利に生活できるようになっています。仕事も何かしらあるので、ぜひ検討してみてください」。まずは今の浜田を体験するところから移住を考えてみてはどうでしょうか。

公益財団法人ふるさと島根定住財団 松江事務局：0852-28-0690 石見事務所：0855-25-1600

